

FIERA DEL LIBRO PER RAGAZZI

ボローニャ絵本見本市報出書1



わーお

小学生の時から毎年、兵庫県の大谷記念美術館にボローニャ絵本原画展を見に行くのが楽しみでした。

はじめまして！ボローニャに住んでおりますのだよしこといいます。私の見てきたボローニャ絵本見本市のことを伝えてみます。



2002年にイタリアへの短期語学留学で絵本原画展を現地でも一度見てみたいなあ！というのもあってボローニャの町を滞在地に選びました。絵本原画展がコンクールであるというのもその頃知って、その年から挑戦も始めました。



どんなかなあ



送還



そしてはじめて見たボローニャ絵本見本市はほんとうに衝撃的でした。



うわあああ
こんなだったのかあ!!

たくさんの絵本とたくさんの絵本を作る人と作りたい人とそれらをだすたくさんの出版会社が絵本見本市には集まっています。

FIERA DEL LIBRO PER RAGAZZI

こうして2年め3年めの見本市では
作品ファイルをもってあちこちの出版社に
見てもらったりしました。



ほんとにたくさんの出版社が世界から
きてますが、持ちこんだ作品を見てくれる
ところは半分くらい?です。



見てくれる出版社のところはすごい列が
できてたりするのでわかります。



みたいなことの方が多いですか?
こうした売りこみからほんとに出版
につながってる人たちもいるのです!!
すごいなあ!

ボローニャの見本市から日本へ
絵本原画展を運んできてくれる
板橋美術行館のことも矢口で
そこで絵本のワークショップも
やってることもわかって、ボローニャ
から帰ってからもわくわくやっほい!
と参加したりしました。



ワークショップの先生には海外の
アーティスト・イラストレーター、出版社の
人とかが毎年きていて、これまた
すごくおもしろかったのでした。



見本市会場ではあこがれのアーティスト
さんたちに会えたりもしてうれしいです



ボローニャ絵本見本市報告書 2

FIERA DEL LIBRO PER RAGAZZI

そしてなにより、糸會本を作りたい! かわりたい! と思って日本からやってくるいろんな人たちと矢張りあえたことはとても貴重なでした。



そんなわけで、私は見本市会場での売りにみから直接お仕事に! というのはなかったですが、そうやって重かいてるあいだに出会った人たちやできごとからなんだかぼちぼちとつながっていて、今、イタリアで少しだけ糸會の仕事ができてるのだなあとしみじみ思います。ほんとにたくさんのおもしろいステキな人たちとの出会いを与えてくれたボロ-ニャ.糸會本見本市に、ぜひとも興味のある方は行ってみてほしいです。きっとなにかがちょっとずつ重かきはじめると思うのです。



こんな根性なしのかくれぎみのわたしでもやってこれたので、みんなだいじょうぶですよ!!



見本市会場のJBBYの受付でこそりお手伝いもしてるので、会場にこられて、わからないことがあったり、つらくなったりしたらぜひとも声をかけて下さいませ。見本市会場のことや、ボロ-ニャの町のこと、イタリアのこととかでみなさんのお役にたてたら、ものすごくうれしいです! yocci

ボロ-ニャ
糸會本見本市報告書 3